

2021バスケットボール競技規則による ショットクロック操作変更点

◆主な事例とショットクロックの表示

ゲームクロック残り24秒未満で、チームが新たにボールをコントロールしたときの操作方法の変更点

(詳しくは2021競技規則 P.171 29/50-55 を参照ください) ※B.LEAGUE の適用は2021-22シーズンより

事例		旧 操作方法		新 2021/4/1以降	
1-①	ゲームクロック残り23秒 プレイヤーA1が新たにコート上でボールをコントロールした	24	24秒を表示したまま止めておく		なにも表示しない (リセットボタンを押し続ける)
1-②	ゲームクロック残り19秒 プレイヤーA1がフィールドゴールのショットを行い、リングに当たったリバウンドのボールをA2が最初にコントロールした (オフェンス・リバウンド)	14	14秒リセットして計測を続ける	14	14秒リセットして計測を続ける (旧⇒新変更なし)
1-③	1-①の後、 ゲームクロック残り12秒 プレイヤーA1がフィールドゴールのショットを行い、リングに当たったリバウンドのボールをA2が最初にコントロールした (オフェンス・リバウンド)	14	14秒を表示したまま止めておく		なにも表示しない (リセットボタンを押し続けるか電源OFF)
1-④	1-①の後、 ゲームクロック残り12秒 プレイヤーA1がフィールドゴールのショットを行い、リングに当たったリバウンドのボールをB2が最初にコントロールした (ディフェンス・リバウンド)	24	24秒を表示したまま止めておく		なにも表示しない (リセットボタンを押し続けるか電源OFF)
2-①	第1Q～3Qにおいて、 ゲームクロック残り13秒 プレイヤーA1がフィールドゴールのショットを行い得点が認められた B1がエンドラインからスローインしてコート内でプレイヤーがボールに触れた	24	24秒を表示して止めておく		なにも表示しない (リセットボタンを押し続けるか電源OFF)
2-②	第4Qまたはオーバータイム(延長) ゲームクロック残り13秒 プレイヤーA1がフィールドゴールのショットを行い得点が認められた B1がエンドラインからスローインしてコート内でプレイヤーがボールに触れた		なにも表示しない (電源OFF)		なにも表示しない (電源OFF) (旧⇒新変更なし)

備考) 上記のコントロールとはプレイヤーがライブのボールを持つかドリブルをしたときのことで

ショットクロック残り14秒以上で、フィールドゴールのショットのボールが空中にあるときに発生したファウル後の操作方法の変更点 (詳しくは2021競技規則 P.166 29/50-28 を参照ください)

事例		旧 操作方法		新 2021/4/1以降	
1	ショットクロック残り17秒 A1のフィールドゴールのショットのボールが空中にあるときに、チームBのバックコートにいるB2がA2にパーソナルファウルをした(このQ2個目のチームファウル) 次にチームAのスローインで再開される場合	14	再開時のショットクロックは14秒	17	再開時のショットクロックは17秒 (リセットされずに継続となる)